

青葉通信

第2号

発行
社会福祉法人
中日新聞社会事業団
中日青葉学園

平成18年度 巣立ちの会

学園の一大イベント「平成十八年度巣立ちの会」が三月七日午後、学園多目的ホールで開かれた。今春、中学校を卒業した園生を学園として祝い、送り出す大切なセレモニーで、各児童相談センター、学校関係者を来賓に招き、中学三年生十



二人(あおば館、わかば館各六人)、その保護者をはじめ、在園生、職員ら約二百人が出席した。

松田学園長が一人ひとりに贈る言葉を述べ、「学園で学んだことを胸に刻み、これから大いに活躍してください」と励ました。

中日新聞社会事業団・小川事務局長から記念品としてドライヤーとデジタルカメラが贈られた。

学園生活の思い出のスライド上映、在園生の感謝の言葉Ⅱ写真Ⅱ、担当指導員から

プレゼントが渡されたあと、一人ひとりがこれまでを振り返り、決意を語った。感極まって涙で言葉が詰まる人も何人かいて、会場は厳粛な雰囲気の中、在園生からのメッセージと歌が披露され締めくくった。

このあと、玄関前に移動、卒業生が一行に並んだ在園生、職員の前を握手しながら歩きⅡ写真Ⅱ、卒

業生からは感謝、在園生、職員からは励ましの言葉が言い交わされた。

昨年夏のソフトボール大会で活躍、卒業後、就職が決まったA君は「いろいろなことがあったけど先生に教えられたことを忘れずにがんばります」と話していた。



巣立ちの会に先立ちこの日午前九時から、日進市立日進中学校で、三年生約二百人を送る卒業式が行われ、学園から通う十二人が卒業証書を受け取った。

もう一つの卒園行事「送別会」は、三月三日午後、学園多目的ホールで開かれた。約百五十人が参加、立食で食事をしながら、職員制作のビデオレターを見たり、有志によるバンド演奏を楽しんだり、思い出や将来の夢などを語り合った。

巣立ちの会で学園長が卒業生に贈った言葉は次の通り。

あおば館

▽女子 「昨年夏の卓球大会で、キャプテンとしてみんなをまとめてくれました。これからもリーダーシップを発揮してください」▽男子 「ソフトボールにミュージカルに大活躍。ますますの健闘を祈ります。ドラゴンスの応援もよろしく」▽男子 「持ち前の優しさを胸に、レーサーになる夢を忘れないでください」▽男子 「ソフトボール部エースとして昨年の大会で大あばれ。これからも好きなスポーツで活躍してください」▽女子 「ホーム長として、みんなをまとめてくれました。先生として学園に戻ってきてください」▽男子 「得意のパソコンでトッププログラマーを目指してください」

わかば館

▽男子 「音楽の集いなどですばらしいギター演奏を披露してくれました。さらに腕に磨きをかけてください」▽女子 「カマキリを手名付けた伝説の持ち主。これからも動物の先生として動物を可愛がってください」▽女子 「昨年の卓球大会で個人優勝。粘り強さを胸に、やさしい介護福祉士になってください」▽女子 「約束を守る人。皆から好かれるパティシエとしておいしいケーキ作りに励んでください」▽女子 「学園指折りの元気印。インフルエンザを2日で撃退したパワーを、これから発揮してください」▽女子 「整理整頓が上手。お菓子作りで皆さんを幸せにしてください」

学園整備

学園では十八年秋、園内安全対策として敷地西の雑木林との境にフェンスを新設したほか、園内約四十カ所に注意を呼びかける看板やスピード制限の交通標識、正門前にカーブミラーⅡ写真Ⅱを設置しました。また、夜間照明として青葉分校、退所支援施設「のぞみ」の裏に赤外線感知防犯灯五基、職員駐車場、園内通路六カ所に常夜灯を増設しま



した。看板類は、「フェンスに登らない」「園内最徐行」「下り坂スピード注意」「止まれ」など。子どもたちだけでなく来園者にもアピールします。また、正門前の「学園案内看板」Ⅱ写真Ⅱを十数年ぶりに一新、あおば館東側園内通路に面したホーム「しらかば」「けやき」の前にサザンカを生垣として植栽しました。

お陰様できれいになりました



中日新聞が市民に呼びかけで結成されたボランティア団体・中日森友隊が、昨年、今春の二日間、にわたり、中日青葉学園の雑木林整備を行いました。

学園は、丘陵地にあり、敷地約一万五千平方メートルのうち約三千平方メートルが自然のままの雑木林。これまでほとんど手入れされなかったが、設立当時植えられ

た杉とヒノキ、自生のドウングリの出るブナ類も枝が伸びたまま、また、笹や下草が生え放題で人が入れる状態ではありませんでした。

中日森友隊は、中日新聞が創業百年を記念して長野県玉滝村、岐阜県加子母村(現中津川市)に造成した「国民の森」を継続して手入れするために約十年前に結成された。東海三県の会社員、主婦、自営の人たち約百人が隊員登録し、定期的に国民の森などをボランティア活動



「荒れた雑木林の手入れをお願いしたい」との学園の要望に快く引き受けてもらい、昨年十二月九日、今年三月十七日、隊員延べ約五十人が作業に当たりました。

十二月は小雨、三月は晴天のもと、五、六人のグループに分かれて足の踏み場もないほどの林の中に入り、木の根元を丁寧に切りました。揃いのヘルメットを被った隊員たちは、慣れた手つきでノコギリや大ハサミ、高枝切りノコギリ、草刈り機を扱い、地面にビッシリ生えた雑草、笹を刈り取ったり、杉、ヒノキの枝を落として、不要な雑木を伐採しました。作業は二日間、延べ八時間にわたり、見違えるようにきれいになりました。

松田園長は「丘の上にある園舎は学園前の道路から見えなかつたけれど、お陰様で木々を通して見えるようになり、スッキリしました」と感謝。森友隊は整備の済んでいない所を含め今後も継続していくという。(写真は、いずれも三月の作業風景)

みんなで盛り上げた 青葉まつり

秋のビッグイベント「第十回青葉まつり」が、十月二十八日、学園グラウンド、多目的ホールで開かれ、関係者のほか地域の人も大勢集まり、模擬店での買い物や特設舞台でのバンド演奏などを楽しみました。

まつりは①



子どもたちがホームごとに模擬店を出し、運営する②地域への出店を呼びかけ、地域福祉に貢献する③「エコ」を意識、リサイクルに取り組みを柱に、あおば館わかば館から三人ずつ計六人の児童実行委員が中心となり、学園職員とボランティア団体・青葉友の会が支えとなつて行いました。また、AOU、AJU、ぼれぼれフレブル、まっぴい、ライメンハウス橋の五団体の協賛を受けました。

模擬店では、やきそば、カレーライス、みたらし団子、たこ焼きなど十七種の食べ物と、ゲーム、工作教室、フリーマーケット、記念Tシャツのチャリティ販売、写真などさまざまなコーナーも。

特設舞台では、学園子どもたちや卒園生グループのバンド演奏、職員有志のソーラン踊り、写真が披露され、拍手を浴びていました。今年も十周年とあって、佐藤彰・日進市長が来賓あいさつに訪れ、記念品としてフレブルがマグカップ、まっぴいがTシャツを作るなど特別なまつりとなりました。



学園では児童養護施設「あおば館」、児童心理療育施設「わかば館」合わせて百五十人の子どもをお預かりし、五十人の職員が家庭復帰や自立に向けたお手伝いを行っています。今後、全国で課題となっている子育て支援など地域との連携事業にも取り組むたいと考えています。

学園の運営にご協力いただいております関係各位にお礼申し上げます。今年度も変わらぬご支援ご鞭撻をお願いいたします。

子どもとともに 地域とともに



中日青葉学園園長 松田 正憲

子どもたちを取り巻く社会情勢の変化に伴い、児童福祉施設の役割は大きくなっていきます。親族による子どもへの虐待が社会問題となつており、全国の施設では、入所児童の6割以上が虐待を受けているといわれ、当学園も同じ状況です。また、両親の離婚や死別、あるいは情緒的な問題などから家庭で育てることが出来なかつたり、難しい子どもが増えているのです。

学園では児童養護施設「あおば館」、児童心理療育施設「わかば館」合わせて百五十人の子どもをお預かりし、五十人の職員が家庭復帰や自立に向けたお手伝いを行っています。今後、全国で課題となっている子育て支援など地域との連携事業にも取り組むたいと考えています。

学園の運営にご協力いただいております関係各位にお礼申し上げます。今年度も変わらぬご支援ご鞭撻をお願いいたします。

新人です。よろしく

新たに仲間入りしたのは次の皆さんです。(所属、名前、生まれ、一言、好きな動物)

- 調理員▽伊藤清美▽十一月生まれ▽愛知県▽昨年十二月からお世話になっていきます。よろしくお祈りします。
- あおば館児童指導員▽川角恭代▽獅子座▽高浜市▽毎日、元気に子どもたちと楽しく生活しています。まだまだ分からないことばかりで、勉強の毎日です。精一杯やっていきます。
- 同特別指導員▽田中花枝▽獅子座▽豊明市▽大好きな子どもたちと一緒にこれから成長していきたいと思えます。楽しく元気に前向きにがんばります。
- わかば館児童指導員▽山元優佳▽二月一日生まれ▽名古屋▽映画、音楽、本が好きです。よく感動して泣いています。わかば一年目の新人です。
- 同館産育休代替職員▽外倉玲奈▽二月生まれ▽天然です▽万博開催年に長久手に引っ越してきました。緑の多い長久手が好きです。

学園の思い出

10月9日	名城マラソンに40人が参加。
11月18日	J A三重南紀が特産の温州みかん20箱寄贈。県児童福祉施設長会主催「第28回音楽の集い」。13施設が参加して日進市民会館で開き、当学園では踊りとバンド演奏、写真展を披露。
12月3日	ナゴヤドームで開催のドリームドッジボール大会に参加。
13日	中部善意銀行がクリスマス慰問に来園。
22日	学園クリスマス会を開き、愛知中央ライオンスクラブなどがサンタ姿でプレゼント。安藤邦俊園長離任式、写真展。
23日	名古屋スポーツセンターでスケート招待。児童、職員、ボランティア70人が滑走、写真展。
28日	年末大掃除。
30日	やわらかな陽射しの下、もっちり大会。写真展。
1月1日	児童、職員、ボランティア約40人猿投神社へ初詣。
19日、21日	県児童福祉施設長会主催の白山スキー村にあおば館10人、わかば館8人(中学生)が参加。
28日	愛知県一色町一色マラソン大会にあおば館児童、職員、ボランティア、実習生が参加。
30日	わかば館が児童福祉施設サッカー交流会・ユイヤースカップ(会場：ならわ学園、10チーム参加)で3位入賞。
2月3日	県児童福祉施設長会主催第21回親善マラソン大会。写真展にあおば館52人、わかば館30人、実習生、ボランティア15人が参加、小学低学年男子の部で2位、中学女子の部で1、3位にあおば館児童が入賞。
4日	日進市綱引き大会(会場：日進スポーツセンター)にあおば館、わかば館合わせて約40人の混成3チームが参加。
17日	あおば館2階フロア旅行、3階は18日、わかば館は24日、それぞれナガシマスパーランドへ。児童、職員、ボランティア約160人参加。
21日	グラウンドで日進消防署の指導により消火・煙避難訓練、写真展を行い、職員、児童約80人が参加。
3月3日	中学3年生送別会。多目的ホールで両館12人を囲み、園児、職員が立食パーティ式で懇話。
11日	日進わいわいマラソンに児童、職員、ボランティア約100人参加。青葉友の会18年度総会が学園で行われ、18年度事業報告、予算、19年度事業計画・予算承認。
20日	北小学校卒業式、あおば館3人、わかば館6人が卒業。
30日	中日新聞社会事業団理事会で学園の18年度補正予算、19年度予算・事業計画承認。

ちょっといい話

その一

今年一月、匿名の方から「学園の愛犬・ジュニアに美味しいものを食べさせて」と二万円いただきました。お母さん役の高橋悦子保育士Ⅱ写真Ⅱは、好物のジャーキーを与えながら「ジュニアは子どもたちから可愛がられ、子どもたちにも癒しとなり元気いっぱいです。ありがとうございます。」と感謝しています。



その二

「M君が卒園後、就職した会社を辞め、福祉を指して勉強している」という話がこの二月、中日新聞に掲載されました。この記事を読んだ匿名の読者から「少ないけれど、役立てて」と新聞社を通して三万円寄せられました。今年八月から専門学校に続いて大学での勉強を予定しているM君は「これを励みに一層がんばります」と感激していました。

回覧板

模様替え

ロビーに飾る絵画を差し替えました。画家・横山萬理さんが昭和五十七年に制作、学園に寄贈していただいた大作（縦百七十七センチ、横百二十センチ）「人形の静物」Ⅱ写真Ⅱと題し、チューリップ、ランプ、トランベットの静物と可愛らしい人形を描き、ロビーが明るい雰囲気になっていきます。



苦情相談箱設置

児童、保護者から学園に対するご意見を承る「苦情相談受付箱」Ⅱ写真Ⅱをロビーに設置しました。ご意見は学園のよりよい運営に役立てて参ります。



学園に十八年秋以降、次の方々から寄付や招待など応援を賜りました。あおば館の箱庭療法で使う玩具Ⅱ式Ⅱ写真Ⅱ、交通標識Ⅱ写真Ⅱなど安全対策やスポーツ用品の購入など児童の健全育成に役立てていきます。

荒木雅博選手後援会（五十万円）匿名（二十万円）中日新聞社管理局有志（十六万円）愛知中央ライオンズクラブ（十二万円）大日本印刷（十万円）JAあいち尾東東郷女性部（六万余円）大島寅夫（五万円）青葉友の会（三万四千元）船岡英幸（三万円）匿名（二万円）高島良樹、M、志村清一、小川信俊、神戸幸雄、中村淳治、高坂毅、鈴木輝剛、窪田真西脇紀人、小出宣昭、河合賢次、坂井克彦、鈴木周作、土本順治、柴田篤行、戸川泉、竹内正毅、野崎民夫、古谷俊明、相羽泰彦、片田知行、榎田久、佐々木崇夫、鈴木隆、真能秀久、伊藤勝彦、西川順之助、河口信介、小宮寛治、伏見博武、加藤幹敏、川本

..... ありがとうございます



公子、戸谷紘治、中斉正寛、中西英夫、伊藤博道、荒屋昌夫、坪井裕、池田淳、白田信行、高嶋孝次（以上一万円）白山宮、東宝、日本鏡餅組合、中部善意銀行、山本善彦、日本出版販売、名古屋スポーツセンター、菅沼三佐子、福生、東芝EMI、下畑良和、棚橋善一、鬼頭昌子、イトピー、中村商店、ドリムステージエンターテインメント、中日フォトサー비스、亀井幸一、ジブラルタ生命、さんわコーポレーションさん、わグルーブ、丹羽久子、愛知ミタカ運輸、名糖産業、都筑、白竜神社、愛知県菓子学園協議会、栄屋印刷店、トータルアイ、南知多ビーチランド、日本モンキーパーク、野外国族博物館リトルワールド、JA三重南紀、リゾートトラスト、コンプレックス、ピズ・インターナショナル（以上物品、招待）



（順不同、敬称略）

学園人事

「退職」 安藤邦俊（学園長）▽志水高子（調理員）Ⅱ18年12月31日付け▽村瀬舞姫（あおば館児童指導員）▽村上千華（あおば館同）▽井山俊子（わかば館同）Ⅱ19年3月31日付け
「異動」 あおば館児童指導員 平岡（旧姓伊藤）晴香（同館産育休代替職員）▽同 安藤美菜子（同館特別指導員）Ⅱ4月1日付け
「採用」 伊藤清美（調理員）Ⅱ18年12月1日付け▽川角恭代（あおば館児童指導員）▽田中花枝（同特別指導員）▽山元優佳（わかば館児童指導員）▽外倉玲奈（同館産育休代替職員）Ⅱ4月1日付け
「昇進」 学園長（副学園長）松田正憲Ⅱ19年1月1日付け▽あおば館指導係長（同館主任指導員）高崎孝一▽同館主任指導員（同館児童指導員）倉橋幸彦▽わかば館指導係長（同館児童指導員）宮田典幸▽主任事務員（事務員）武弘和道▽主任調理員（調理員）西尾とみ子Ⅱ4月1日付け

十八年度表彰

県児童福祉施設長会主催の夏季球技大会であおば館がソフトボールの部、わかば館が卓球の部で初めてそれぞれ優勝しました。指導者を務めた高寄孝一、森田健路、倉橋幸彦、村瀬舞姫（あおば館）、宮田典幸、園原基治、川上知幸、高野美紀（わかば館）各氏の労をねぎらいました。

平成19年度 中日青葉学園予算

あおば館				わかば館			
収入の部		支出の部		収入の部		支出の部	
款	予算額	款	予算額	款	予算額	款	予算額
1.措置費	175,434,000	1.人件費	131,226,000	1.措置費	134,589,000	1.人件費	112,479,000
2.補助費	12,275,000	2.事務費	14,789,000	2.補助費	2,517,000	2.事務費	12,463,000
3.寄付金	3,100,000	3.事業費	47,994,000	3.寄付金	1,750,000	3.事業費	24,514,000
4.繰入金	600,000	4.固定資産取得費	0	4.繰入金	9,000,000	4.固定資産取得費	0
5.雑収入	2,600,000			5.雑収入	1,600,000		
合計	194,009,000	合計	194,009,000	合計	149,456,000	合計	149,456,000

社会福祉法人中日新聞社会事業団
〒460-8511
名古屋市中区三の丸1-6-1
中日新聞社1階
電話052(22)10580
ファクス052(22)10839
中日青葉学園
〒470-0131
愛知県日進市岩崎町竹ノ山149-164
児童養護施設「あおば館」
電話0561(72)0134
ファクス0561(74)2315
児童心理療育施設「わかば館」
電話0561(74)7752
ファクス0561(72)7557

編集後記

第二号は桜の咲くころに、と思っていきましたが、新緑の季節になってしまいました。四月は異動の時期、学園でも児童職員が何人か入れ替わりしました。去った人、仲間入りした人、それぞれ期待の中に不安があることでしょう。二年目の私も新鮮な気持ち忘れずに務めていきたいと思っています。(M・M)